

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第3回八千浦区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

・「地域活性化の方向性」について（公開）

## 3 開催日時

令和5年10月18日（水）午後6時30分から午後7時30分

## 4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、大島 進（副会長）、伊倉幹夫、笠原幸博、  
坂詰喜範、関川信之、羽深栄一、平野和夫、柳澤 篤、渡辺孝三郎、  
渡邊修一（欠席者1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

## 8 発言の内容

### 【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【仲田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：伊倉委員、坂詰委員に依頼

議題【協議事項】地域活性化の方向性について、事務局へ説明を求める。

### 【丸山主任】

・資料No.1「八千浦区における『地域活性化の方向性』(案)」に基づき説明

本日の会議では、9月の第2回地域協議会でご協議いただいた内容を踏まえ、今回事務局で作成した修正案をたたき台にしてご協議いただきたい。なお、協議がまとまる場合は、八千浦区における地域活性化の方向性の決定についてもご協議いただきたい。

【仲田会長】

前回いろいろな意見を出していただき、最終的に修正案については事務局にお願いをした経緯がある。今ほど修正ポイント3点について説明があったので、それについてまず皆さん方からご意見、質問をうかがっていききたい。

【伊倉委員】

前回関川委員から意見があったが、他地域の交流関係について今回入れてあるので、私はこれでよいのではないかと思う。

【仲田会長】

前回他地域という意見と、いろいろな世代間交流ということで、年齢的にどうのこうのということではないという、そういう意見が多数出されており、それが事務局の修正案に組み込まれている。

他に意見を求める。

【関川委員】

前回いろいろと私が発言させていただいた方向性でまとまっており、さらに修正ポイントの中の人材育成を重視ということで、順位上げをさせていただいた。大変よくできていると思う。

【仲田会長】

他に意見を求める。

決定するということになる、構成要素も含めて決定するということでよいか。

【丸山主任】

キャッチフレーズと構成要素はセットになるので、すべて決定になる。

【仲田会長】

キャッチフレーズは前回意見が出された部分で、大体組み込まれている。構成要素が5点あり、「住民同士・地域間の交流促進」という新たな視点で出されているので、順番の入れ替えや優先順位等について意見を求める。

【羽深委員】

まず活性化ということを考えると、人流というか、周り、他地域の方から来ていただいて、それを含めて地域内でまた一緒になって交流を行うということが大事だと思っているので、それを構成要素の一番に挙げていただいたのでこれでよいと思う。

**【平野委員】**

前回、意見交流会があったときに、若者が流出しないように企業見学をしたらどうかという意見があった。キャッチフレーズか構成要素の中に「企業との交流」のような文言を入れたらどうかと思う。

**【仲田会長】**

企業間の交流か。企業と住民の交流という意味か。

**【平野委員】**

企業と住民の交流である。この間、工場見学をすることによって若者の流出を防ごうという意見が出たときに、企業と交流することによって工場見学に発展すればよいのではないかと思った。

**【仲田会長】**

前回にはなかったが、皆さんいかがか。若者の流出を防ぐという観点から今提案があったが、他に意見はあるか。

**【坂詰委員】**

今の平野委員の意見でいうと、小学校か中学校と企業が一緒に海岸清掃をやっているが、なかなかそれが住民にアピールされていない。例えば、上越市のクリーン作戦等があるが、住民と企業が一緒になってやることはいいことだと思う。工場見学も八千浦商工振興会や、明るい町づくり協議会等、会長や役員の人たちにはご案内が来て、過去に何回も見学に行っていると思う。住民の方を募集したときもあったが、若い人がなかなか集まらない。会社も企業も土日にやらない、平日に開催するので、高齢者の方や時間に余裕のある方が見に行きたい好奇心もあり参加する。いい提案だと本当に思うが、やはり若い人を動員するとなると、土日に企業からやってもらうとか、交渉の仕方によっては検討する余地はたくさんあると思うし、また、アピールの仕方によっては、春1回、夏1回、秋1回のように、小中学校と企業と八千浦の住民で海岸を綺麗にするという方法もある。そして、そこに釣りに来ている人たちも巻き込んでやれば、地域の活性化にも繋がっていくような気もする。いろいろいい案はあるが、具体的にどうしてやっていくかだと思う。アピールしたり、アナウンスしたり、スピーチしたり、やり方だと思う。

**【仲田会長】**

今の平野委員の話は、構成要素の中に入れるということか、キャッチフレーズの両方に入れるということか。

**【平野委員】**

どこかに「企業との交流」の文言を入れたいという思いである。それが先ほど言ったように、企業との交流を持つことによって若者がそこへ就職して、若者の県外への流出、或いは市外への流出を防ぐというような形になればいいと思う。

**【坂詰委員】**

企業というのは、JERA、インペックス、東北電力を指すのか。例えば黒井だと、企業管理協会へ行くと60社ぐらいある。黒井の町内の人たちは、黒井企業管理協会ですら清掃をしたり、いろいろな活動はしている。交流を持とうと思うといろいろな持ち方があると思うが、どの企業を指しているのか。全部八千浦に関連する企業なのか。

**【平野委員】**

私が言いたいのは、企業見学をすることによって、「高校を卒業したらこの会社に勤めよう」という考えが浮かぶようになれば、ここからの流出が少しでも減るのではないか。だから商店でもいい、大きな会社でもいい。とにかく見学をして、じゃあ私は高校を卒業したらこの会社に勤めようというような形で、中学の段階で見学をして、高校に入ったときには、もう就職先はここだと決まっていれば、卒業しても県外へ行かずに市内で働くということになればいいと思う。

**【伊倉委員】**

構成要素の一番上の地域活動のところに、「(企業を含む)」のように付け加えてはどうか。

**【仲田会長】**

平野委員の発言にあった中学校キャリア教育の中の企業体験が、ここ数年続けられてきたが多分規模が縮小されてきている。八千浦については八千浦中学校の人は八千浦地区の企業で全部賄っているが、そうでない地域は地域外の企業で企業体験をやっている。中学校のキャリア教育の中で企業体験が実践されてもう相当な年月が経っているが、その検証はキャリア教育の中では多分やっていないのではないか。その辺の絡みもあるし、伊倉委員が言われたように、構成要素の中の具体的な活動を文字化していくかどうか、その辺については皆さんいかがか。例えば、構成要素修正案の2番目の「地域一貫の小

中学校を活かした絆の醸成、地域の担い手の育成」、この地域の担い手の育成が、小中の地域一貫から受けているのか、或いは地域の担い手という中で、今言われたようなことも含んで、具体的な活動、或いは活性化の方向性を出していくのか。この辺は解釈の問題になるが、その辺のご意見をうかがいたい。

**【関川委員】**

平野委員がおっしゃることと少し違うかもしれないが、言い方とすればこのままでよいが、「住民同士・地域間の交流促進、並びに隣接企業との交流促進」のように構成要素の中に入れる言い方。そうすると、一番上にある「地域を超えて」にも繋がるのではないかと思う。将来の担い手とは少し別かと思うが、隣接企業の方もぜひこちらに参加していただきたいということで、入れたほうがよいと思う。

**【仲田会長】**

ただし、平野委員の言っている若者の流出を防ぐ、その対象の若者が、中学生以上にするか、高校生以上にするか、中高生に限るか、それによっても取扱いが随分変わってくるし、中学生を対象にすると、今のキャリア教育との関係はどうするのか。そこを巻き込んでいくのかどうかという結構複雑な問題も絡んでくると思う。職業体験もあるので、その辺について意見はあるか。

**【平野委員】**

最初は簡単に考えていたが、皆さんの意見をいろいろ聞いていくと非常に問題が大きい、いろいろある。その中で、キャリア教育や職場見学を学校でやっているという話を聞いたので、この件については今回の活性化の方向性とは別に、協議会の中で今後の課題として、一案としてそれについて検討していったらどうかと思う。

**【仲田会長】**

地域活性化の方向性としては、今日できれば決めたいと思う。若者の流出を予防するのか、防止するのかということになると結構難しい話になるが、具体的な課題として議論していくに値するだろうと感じられるので、皆さん共通の認識でできると思う。平野委員が言われたように、地域協議会として、一つの課題としてそれをクローズアップしていったらどうかという意見についてはいかがか。活性化の方向性については、この中にも含んでいるけれども、具体的に言えば課題として議論していくということで、その辺について意見はあるか。よいか。

(委員賛同)

それでは、今平野委員から出された案件については、地域協議会の議論の課題としてきちんと捉えて、地域活性化の方向性と関連はするが、別途議論を進めていくということで整理をさせていただいてよいか。

(委員賛同)

では、そのようにさせていただく。

八千浦区における地域活性化の方向性について、他に意見はあるか。よいか。

(委員賛同)

では、事務局から出された資料No.1「八千浦区における『地域活性化の方向性』(案)」について、キャッチフレーズ、それから構成要素について、事務局の修正案のとおり決定することでよいか。

(委員賛同)

では、今日提案された修正案について、八千浦区の地域活性化の方向性として決定をさせていただきたい。

次に、その他に移る。

#### 【丸山主任】

まず、地域活性化の方向性の取扱いについて説明させていただきたい。本日決定いただいた地域活性化の方向性については、まず木田庁舎の地域政策課に報告させていただく。その上で、他の地域自治区でも公表しているが、市のホームページで公表をさせていただく。また、今後発行する予定の地域協議会だよりの中で、八千浦区の皆さんにも改めて周知をさせていただこうと考えている。今後は、具体的な取組の実現に向けた対応について検討いただくが、それは次回以降、検討内容として考えていただきたい。

次に、今回の協議会で地域活性化の方向性が決定したので、次回以降の協議会でどのような内容を協議していくかについて、改めて委員の皆様でご協議いただきたい。

#### 【仲田会長】

今ほど話があったが、次回からこの地域活性化の方向性について、どのような議論を行っていくかということでよいか。

#### 【丸山主任】

地域活性化の方向性の各構成要素を深掘りしていくことや、平野委員のご発言のような、企業との連携に関するもの、若者の流出をいかに防ぐかについてフォーカスしていくこともあるかと思う。八千浦区においては、自主的審議事項として二つほど設定して

いるものもある。現在の第4期の地域協議会委員の皆様の任期が来年の4月までなので、これらの協議事項についてもどのように整理していくか、そういったものもスケジュール感を持ちながら対応していく必要があるかと思う。そういった部分を次回以降どう整理するか、委員の皆様でまずご協議いただきたい。

**【仲田会長】**

そうは言っても漠然としているので、残された任期の中である程度一つの成果を作り上げていくのが我々の任務であると思う。地域活性化の方向性については決定をしたので、先ほどの平野委員からの提案や、明るい町づくり協議会の中で出された意見もある。一つは若者の流出の予防、或いは防止、これについて課題整理。どういう課題があるか、課題整理というようなことを少し深掘りをしながら、地域協議会としての自主審議事項と併せて審議をしていくかどうか、その辺を次回議論してはどうか。今の事務局の説明と合わせていくと、そのような次回の議論の方向性ではいかがか。

それとも、構成要素を一つ一つ潰していくかどうか。それには余りにも時間がなさすぎる。課題としてはずっと残っているがそれを少し深掘りしていく、平野委員から提案のあった案件について少し深掘りをして、次回の協議会で議論していくという整理の仕方ではどうか。

(委員賛同)

明るい町づくり協議会との意見交換会でも出された課題でもあるので、若者の流出をどう防ぐか、或いは予防するか。それから、既に学校で取り組んでいるキャリア教育の成果のようなものが学校から出ているのであれば、その成果の報告を受けたりなど、課題整理としては幾つかあると思うので、これを深掘りをしていくということではどうか。

(委員賛同)

そのようにさせていただきたいと思う。

次に、その他について事務局へ説明を求める。

**【丸山主任】**

次回の協議会ではまずフラットな形から、それぞれ情報交換と課題の整理というところで進めていければと思う。

・次回協議会：11月中旬以降

**【仲田会長】**

・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : [hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。